

財団法人地球共生ゆいまーる発足記念シンポジウム

# 「地球共生の実現に向けて」 ～沖縄から見えること、できること～



- ◆日時：2008年12月15日(月)14:00～16:30
- ◆会場：沖縄電力株式会社ふれあいホール(那覇市旭橋)
- ◆主催：財団法人地球共生ゆいまーる
- ◆後援：沖縄県、JICA沖縄国際センター、日本経済新聞社那覇支局  
沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄電力株式会社

# 会次第

14:00～14:10

## 開会

高良倉吉【琉球大学 教授】

14:10～15:00

## 第1部 対談

「地球共生の実現に向けてー沖縄県政を担う立場から」

対談者: 仲井眞弘多氏【沖縄県知事】

橋本晃和【政策研究大学院大学前教授】

- ①報告「沖縄クエスチョンの歩み」
- ②沖縄への思い、そして地球共生への課題
- ③県政の現在、未来ーなすべき課題と実践とは？

15:00～15:10

休憩(10分)

15:10～16:30

## 第2部 パネルディスカッション

「地球共生の実現に向けてー沖縄から見えること、できること」

パネリスト: 五月女光弘【外務省参与・NGO担当大使】

木下俊夫【JICA沖縄国際センター所長】

池間哲郎【NPO法人アジアチャイルドサポート代表理事】

渋谷寿一【NPO法人樹木・環境ネットワーク協会理事長】

コーディネーター: 高良倉吉

- ①パネリストの紹介および手順説明
- ②パネリストからの問題提起
- ③パネリスト間の討論
  - ・沖縄が果たすべき役割、その実践的な目標、課題について
  - ・ゆいまーる財団が目指すもの、「沖縄から地球市民」へ
- ④フロアを交えた質疑応答・討論

※シンポジウム終了後、16:40～17:00に記者会見を行います。

※16:40～17:50まで、懇親会を開催いたします。

## 対談者、パネリスト、コーディネーター紹介

### ◆対談者



仲井真 弘多(なかいま ひろかず)

1961年、東京大学工学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)に入省。沖縄県副知事、沖縄電力株式会社社長、同会長を経て、2006年12月に沖縄県知事に就任(現職)



橋本 晃和(はしもと あきかず)

1971年、慶應義塾大学大学院博士課程修了後、橋本リサーチコーポレーションを主宰。帝京大学教授、政策研究大学院大学教授を経て、2008年4月から桜美林大学大学院客員教授(現職)。法学博士。当財団 理事長

### ◆パネリスト



五月女 光弘(さおとめ みつひろ)

1965年外務省へ、ニューヨーク、ロサンゼルス各領事、在米大使館・広報文化センター所長、オークランド総領事、駐ザンビア国、駐マラウイ国・特命全権大使などを経て、外務省参与・NGO担当大使(現職)。当財団副理事長



木下 俊夫(きのした としお)

1978年、東京農工大学工学部卒業後、国際協力事業団(JICA)に入団。1984年には英国ウェールズ大学院経済学修士取得。JICA企画部環境・女性課長、同企画・調整部次長兼ジェンダー・環境社会配慮グループ長などを経て同沖縄国際センター所長(現職)。当財団 理事



池間 哲郎(いけま てつろう)

1990年から個人的にアジアの貧困地域の人々の調査・支援を始める。自らの映像を使い、講演・写真展・著作物などで『懸命に生きることの大切さや命の尊さ』を訴えている。1999年NPO法人アジアチャイルドサポートを設立、代表理事に就任。支援活動と共に 国際協力を通じた日本の青少年健全育成運動 に力を注いでいる。当財団 理事。



渋澤 寿一(しぶさわ じゅいち)

1980年、東京農業大学大学院博士課程修了後、国際協力事業団(JICA)専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴任。帰国後、「ハウステンボス」取締役として社長室長、東日本営業本部副本部長などを経て、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会理事長(現職)。農学博士。当財団 評議員

### ◆コーディネーター



高良 倉吉(たから くらよし)

1971年、愛知教育大学卒業後、沖縄県教育委員会沖縄県沖縄史料編集所に入所。沖縄県立博物館主査、浦添市立図書館長などを経て、琉球大学法文学部教授(現職)。文学博士。当財団 副理事長

## ～未来を拓く地球共生システムの実現を目指して～

- ◆地球共生の構築に関する調査研究事業
- ◆地球共生の理解ならびに活動につながる対外的普及と啓発事業
- ◆日本およびアジア太平洋島嶼国の児童・青少年の沖縄における交流および育成事業
- ◆その他、本財団の目的達成に必要な事業

### 沖縄から人類共生の“いのち”を発信しよう！

私たちは限りある“いのち”あるものとして  
この地球上で お互いに出会い、  
共に支え合って生きている(ゆいまーる)

21世紀に生きる人類が未曾有の危機にあるときに  
後世に地球上の人々が共生できる環境を創り  
これを後世に継承する義務がある

この環境づくりに、もっともふさわしい場所  
それが「沖縄」！

沖縄は人類共生の「磁場」  
人間と人間の共生が「平和」  
人間と自然の共生が「環境」

財団法人 地球共生ゆいまーる  
理事長 橋本 晃和  
副理事長 五月女 光弘  
副理事長 高良 倉吉



# 財団法人 地球共生ゆいまーる

YUIM AHL - Pan Pacific Institute Coexisting Alliance